

## フードドライブ始まる

# 食品を必要な人へ

胆振中西部

家庭で眠っている食品を白老以西の胆振中西部7市町に開設した15拠点に持ち寄ってもらう「フードドライブ」が24日、始まった。集まった食品は支援を必要とする生活困窮世帯や、子ども食堂・地域食堂に届けられる。

食べられるのに捨てられる「食品ロス」を減らし、生活困窮者などの支援につなげる。生活困窮者の自立支援を目的に設立されたN

PO法人ワーカーズコープのフードバンクいぶり（室蘭市）が7市町の社会福祉協議会や市民団体などと連携した取り組みで、集まった食品は同NPOが対象世帯などに無償で提供する。受け付けるのは、賞味・消費期限が1カ月以上残っていて常温で保存できる米や乾麺、缶詰、レトルト・インスタント食品、菓子、粉ミルク、調味料など。初日の24日、室蘭市手を

つなぐ育成会のドリームベーカーリーが製造したパンを販売する輪西町のアンテナショップ「ピリカびりか」（ぶらっと・てついち内）では、拠点の目印となるのぼり旗を掲げた。これまで

も余剰のパンをフードバンクに寄贈していて、育成会の鈴木大輔さん（44）は「これまで地域に支えられてきた。逆に施設からの社会貢献として全面的に協力していきたい」と話していた。

持ち寄り拠点は◇室蘭市▽母子福祉会▽ピリカびりか▽雑貨ミニマム▽ふれあいサロンほつとなろ▽商業施設ハック▽室蘭言泉学園本部事務局▽日中活動セ

ンターcafeとて▽コミュニティスペースタンネ◇登別市▽地域食堂ゆめみくる◇伊達市▽社会福祉協議会▽だて地域生活支援センター◇洞爺湖、豊浦、壮瞥、白老町▽各町の社会福祉協議会（野村英史）